

# 事例⑮

## 通常の学級における どの子ども共に学ぶことができる温かい環境づくり

### 授業づくりの視点

- ④ ユニバーサルデザインの視点からの授業づくり

### ◆経験の浅い先生たち、学級でこんなこと感じていませんか？

- 支援が必要な生徒が、交流授業でのグループ活動に入りにくい。
- 支援が必要な生徒が、指示が分からず、活動を進められない。
- 通常学級の生徒が、支援の必要な生徒とどう関わったらよいか分からない。

ファーストステップ！

### ◆例えば、「理科」で、こんなことからはじめてみましょう。

- 理科「地球と宇宙」     中学校     通常の学級（特別支援学級、特別な教育的支援を必要とする生徒を含む）

#### 本時の目標

- ・天体の年周運動が地球の公転によって生じることについて、実験結果から根拠を見だし、結論を記述することができる。（思考力、判断力、表現力等）

#### ファーストステップ②

- ・本単元では、時間的・空間的な見方・考え方を働かせることが重要であることから、「イラストや動画」などの視覚資料で示すなど、工夫しましょう。
- ・「具体物」や「動作」で操作できるように、教材を用意しましょう。

	学習活動	手立て／留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の流れ</li> <li>○ 本時の学習課題の提示</li> <li>○ 班ごとに考えた実験の流れの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを提示し、見通しを共有する</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観察・実験                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽役、地球役などに分かれ、年周運動を起こす地球の動きを動作で確認する。</li> </ul> </li> <li>○ 結果の交流・考察                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習の中で、結果をまとめたり考察を行う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとに協働しているかを視点到巡回し、リーダーが困っている所に支援をする。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考察の確認                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に考察を示し、確認する。</li> </ul> </li> <li>○ 本時のまとめ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめを行う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察欄は「書き出し」を示し、課題と関連させながら「変化したものは何か」を考えらせるように工夫する。</li> </ul>

#### ファーストステップ①

- ・学習活動の流れを可視化し、生徒が見通しをもてるように示しましょう。
- ・安心してグループ学習に参加できるように、通常の学級の生徒と特別支援学級の生徒が関わり合う機会を日常的に設定しましょう。
- ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画を整備し、障がいの状況に応じた対応や配慮について特別支援学級の担任と共有しておきましょう。

#### ファーストステップ③

- ・抽象的な言葉を多用せず、具体的な言葉で授業を展開するよう心掛けましょう。
- ・一度に多く情報伝えるのではなく、一つ一つ指示を出すようにしましょう。
- ・パニック時における対応方法を通常の学級の担任と特別支援学級の担任とで共有しておきましょう。

